



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
いはら 忠 ☎(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第241号
2015年11月9日
発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

入所者に寄り添う介護施設への改善

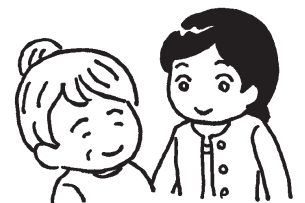
日本共産党市議団に、介護施設に母親を預ける女性から、「本人が拒むからと爪切りや入浴をしてくれない」「繰り返し転倒し、たんこぶができても病院に見せてもらえない」など、施設に改善を求めたがいっこうに変わらず、「基準を満たしているので問題ない」との回答。改善を求める自分が間違っているの？と困り果て市議団に相談が寄せられました。

こうした介護施設の指導は、「29人以下の特別養護老人ホーム」以外はすべて千葉県の管轄となります。今回の相談はショートステイとデイサービスを行っている介護事業所なので、千葉県が調査し、指導することになります。日本共産党の丸山県議を通して千葉県の担当課に改善を求めました。

家族への負担がのしかかる介護の実態

ショートステイと言っても、介護度5の入所希望のご家族です。30日間連続であずけ、1日だけ実費でお願いし、また30日間あずけるといった連泊で母親を施設に預けていました。

しかし、お風呂に入れるときは自宅に連れて帰り、夫と二人で母親の入浴。パジャマに着替えさせて爪切りをして施設に連れていく。最低週に1度は自宅に連れ帰って入浴などをしていても月の負担は10万円を超えました。



「食べ物をのどに詰まらせ救急車を呼んだ」との連絡で駆け付けた時もありましたが、乗車拒否をしたことが理由なのか市への「事故報告」があがっていませんでした。

転倒事故、救急車呼ぶ事故などは市に報告すべき

千葉県の担当課は、「たんこぶができるような転倒、救急車を呼ぶような事故があった時は、八千代市に事故報告を行うべきだ」との判断をしてくれました。

さらに、施設にあずけているのに「本人が拒むからできない」と言って、自宅に連れ帰っている日も料金が加算されている問題については、調査し後日報告してくれることになりました。

特養ホームの増設で「保険あって介護なし」の打開を

2000年4月に介護保険制度がスタートしました。しかし、このスタート時に介護施設に「もうけを上げることを優先する」株式会社が参入することができるようになってしまいました。今回の事業所は数十カ所も経営している株式会社です。明らかに介護保険の問題点が浮き彫りになったと言えます。

日本共産党市議団は、入所待ちの待機者を一日も早くなくすために、特別養護老人ホーム増設の提案と介護施設の改善を目指して頑張っています。